



こうか  
市議会  
だより

city  
assembly  
report

Vol. 32

おもな内容

- 平成23年度決算 2~5
- 議案審議 6~7
- 常任委員会報告 8~11
- 一般質問目次 12
- 一般質問(13名が問う) 13~17
- 特別委員会報告 17~18
- 組合議会報告 19
- こうか再発見 Vol.4 20



信楽にこここ園運動会





**決算特別委員会委員**

◎委員長 ○副委員長

- ◎辻 重治      ○山岡 光広
- 森嶋 克巳      土山 定信
- 橋本 恒典      鵜飼 勲
- 小松 正人      野田 卓治
- 村山 庄衛      白坂萬里子
- 今村 和夫      橋本 律子
- 服部 治男

**一般会計歳入決算**

(単位:円・%)

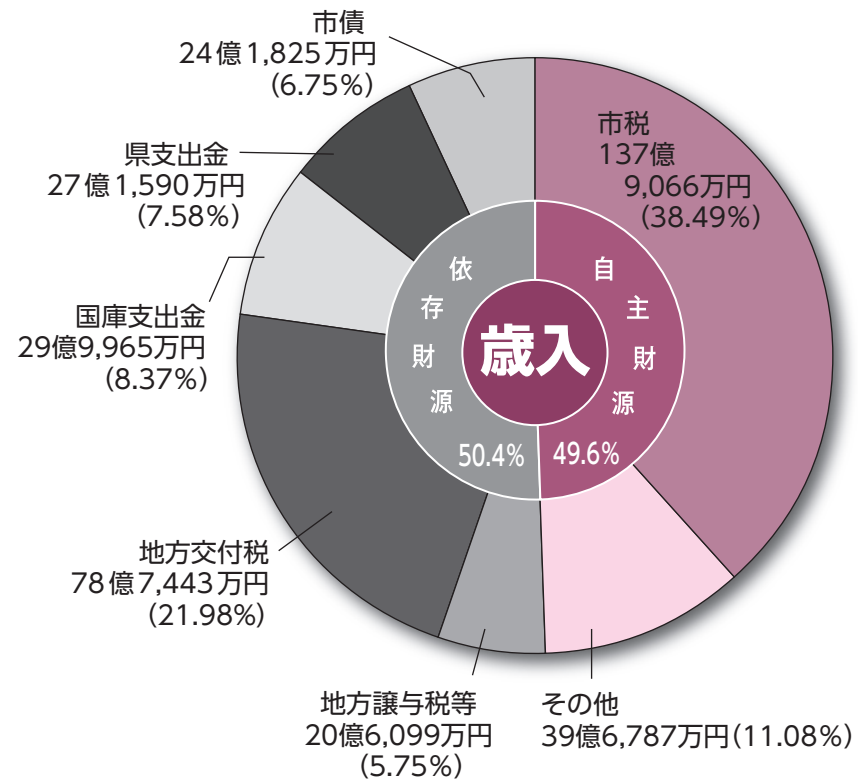
区分	決算額	構成比	対前年比
<b>自主財源</b>			
市 税	13,790,655,933	38.49	100.12
分担金及び負担金	610,259,485	1.70	104.21
使用料及び手数料	480,417,935	1.34	103.34
財産収入	61,962,390	0.17	88.35
寄附金	59,705,246	0.17	484.88
繰入金	1,130,986,416	3.16	405.56
繰越金	682,425,733	1.91	85.29
諸収入	942,116,968	2.63	96.56
小計	17,758,530,106	49.57	104.70
<b>依存財源</b>			
地方譲与税	404,260,501	1.13	96.50
利子割交付金	36,382,000	0.10	80.36
配当割交付金	21,797,000	0.06	119.46
株式等譲渡所得割交付金	5,054,000	0.01	73.44
地方消費税交付金	822,214,000	2.30	100.27
ゴルフ場利用税交付金	451,058,045	1.26	97.35
自動車取得税交付金	115,860,000	0.32	88.69
地方特例交付金	190,107,000	0.53	93.74
地方交付税	7,874,430,000	21.98	111.76
交通安全対策特別交付金	14,252,000	0.04	102.53
国庫支出金	2,999,653,693	8.37	78.12
県支出金	2,715,899,050	7.58	93.53
市債	2,418,251,000	6.75	129.51
小計	18,069,218,289	50.43	101.65
<b>合計</b>	<b>35,827,748,395</b>	<b>100.00</b>	<b>103.14</b>

**一般会計歳出決算**

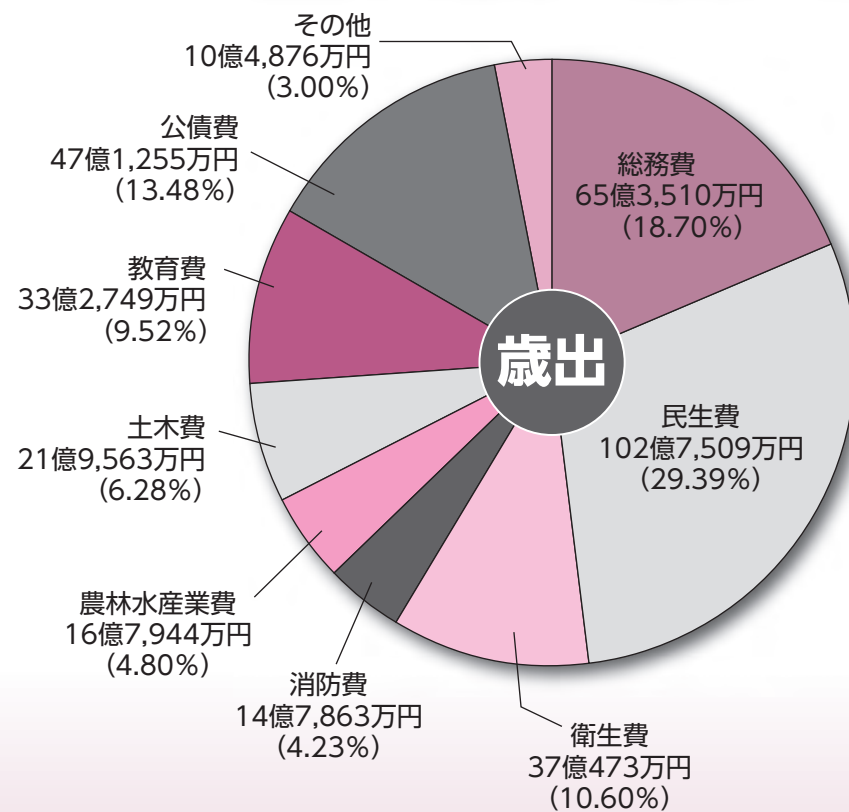
(単位:円・%)

款別	項目	支出済額	構成比	対前年比
議 会 費		318,426,026	0.91	136.44
総 務 費		6,535,101,762	18.70	123.58
民 生 費		10,275,089,354	29.39	108.15
衛 生 費		3,704,728,981	10.60	92.51
労 働 費		346,745,347	0.99	101.39
農 林 水 産 業 費		1,679,439,669	4.80	114.44
商 工 費		341,826,226	0.98	99.14
土 木 費		2,195,633,793	6.28	64.83
消 防 費		1,478,626,139	4.23	119.15
教 育 費		3,327,492,320	9.52	94.00
災 害 復 旧 費		41,761,740	0.12	1,388.24
公 債 費		4,712,546,960	13.48	100.20
予 備 費		0	-	-
<b>合計</b>		<b>34,957,418,317</b>	<b>100.00</b>	<b>102.65</b>

**歳入 358億2,774万8,395円**



**歳出 349億5,741万8,317円**



平成23年度一般会計歳入歳出の決算認定を求める議案は、決算特別委員会に付託され、9月7日から4日間にわたり、収納状況や予算執行にあたっての問題点、今後の市政に生かすべき

課題等について、慎重に審査しました。また、国民健康保険特別会計など12の特別会計と2企業会計決算は、それぞれ所管する常任委員会に付託されました。

**収納状況・予算執行について集中審査**

**平成23年度一般会計決算**



甲南地先に建設された市民福祉活動センター



市内小中学校には空調設備を設置



甲賀市のPRにつながるラッピング高速バス



# 総合計画の実現に向けた

# 予算執行と財政運営を審査

## 主な審査内容

### 総合政策部

○地域情報化基盤整備について事業費の5億円の貸付金の使途・返済の流れはどうか。  
 ▼2年間据え置き、10年返済で年利0.28%で、初期投資経費、運営経費等に使用されている。

### 総務部

○職員研修の予算が少ないのではないかと。研修の効果は検証していく。

○甲賀病院開設に向けたコミュニケーションバスの運行は。  
 ▼利用しやすいバスを目標として検討していく。

### 市民環境部

○京都での暴走事故等をふまえ、交通安全対策は。  
 ▼横断歩道や一旦停止線など薄く消えかかった箇所の改善は、一定進んでいる。

### 健康福祉部

○成年後見センターの状況は。  
 ▼本人や家族ともに判

### 上下水道部

○快適な生活環境の保全を図るため、合併浄化槽設置にかかる補助金の助成は可能か。  
 ▼申請すれば、住宅に関する100%対応できている。

### 産業経済部

○特産品であるお茶の

### 建設部

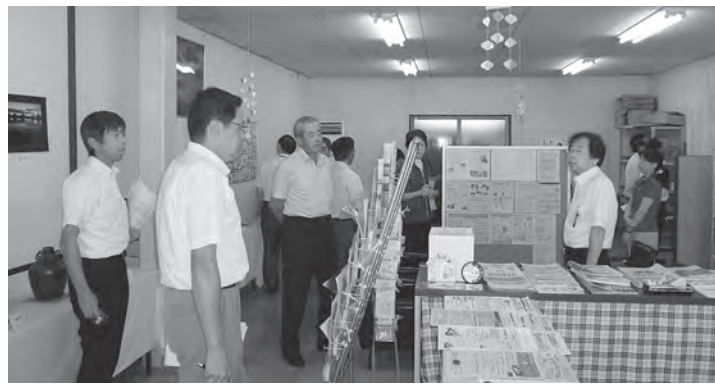
○地元からの要望が多い道路の改良・維持補修工事の対応は。  
 ▼各区自治会からの要望は780件程あるが、緊急性や安全・安心の視点を第一に優先しながら対応している。

### 教育委員会

○小中学校の耐震化率は。  
 ▼本市では、92.8%で、県平均は94.6%、県内19市町中14位である。全国平均は84.8%。

貴生川認定子ども園の広い園舎

○学校の安全上、小学校におけるインターホンの設置状況は。  
 ▼小学校では完了、中学校においても本年度で完了予定。防犯カメラについては順次計画的に整備を進めている。



概ね小学校区に設置された地域市民センター



地元木材を活用した市民福祉活動センター

## 財政力指数

区分	基準財政収入額(千円)	基準財政需要額(千円)	財政力指数
平成23年度	11,865,686	15,836,062	0.76
平成22年度	11,595,238	15,617,935	0.79
平成23年度類似団体指数	6,899,916	13,572,727	0.57

財政力指数 =  $\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$  の3ヶ年の平均値

財政力指数は財政力を示す指数であり、「1」に近くあるいは「1」を超えるほど財源に余裕あるものとされ、「1」を超えると普通交付税の不交付団体となる。

## 経常収支比率

区分	平成23年度	平成22年度	平成23年度類似団体指数
経常収支比率	83.5%	88.8%	84.3%

経常収支比率 =  $\frac{\text{経常経費充当一般財源総額}}{\text{経常一般財源+減税補てん債+臨時財政対策債}} \times 100$

経常収支比率は財政構造の弾力性(臨時の財政需要に対する財政の適応力)を判断する指標であり、市では75%程度までが妥当、80%以上は財政構造の弾力性を失いつつあると判断される。

## 公債費負担比率

区分	平成23年度	平成22年度	平成23年度類似団体指数
公債費負担比率	17.4%	18.2%	16.9%

公債費負担比率 =  $\frac{\text{公債費充当一般財源等}}{\text{一般財源総額}} \times 100$

公債費に充当された一般財源の一般財源総額に対する割合で、この比率が高いほど、一般財源に占める公債費の比率が高く、財政構造の硬直化が進んでいることを表す。

## 実質公債費比率

区分	21年度決算	22年度決算	23年度決算
実質公債費比率(3ヶ年平均)	H19.20.21年の平均 18.0%	H20.21.22年の平均 16.8%	H21.22.23年の平均 14.8%

※各年度の比率は3ヶ年平均

実質公債費比率 =  $\frac{\text{実質公債費A(地方債元利償還金+準元利償還金)} - \text{Aに充てられる特定財源及び普通交付税算入額}}{\text{標準財政規模-Aに係る普通交付税算入額}} \times 100$

実質公債費比率とは「一般会計等の元利償還金」及び「公営企業債の償還に係る一般会計からの繰出金等(準元利償還金)」の標準財政規模に対する比率で、資金繰りの程度を示すもの。

一般会計の元利償還金などが減少し、実質公債費比率は14.8%と改善され、地方債の発行に県の許可を要する基準である18.0%を下回り、許可団体から脱却することができました。

## 特別会計歳入歳出決算状況

(単位:円・%)

区分	収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	8,839,235,230	104.36	8,191,098,130	96.70
後期高齢者医療	1,536,619,403	100.11	1,523,226,634	99.24
介護保険	4,906,846,674	99.94	4,868,527,607	99.16
公共下水道事業	3,247,660,605	97.71	3,210,620,881	96.60
農業集落排水事業	937,756,575	90.84	928,819,142	89.97
土地取得事業	9,249,773	111.56	8,284,300	99.92
野洲川基幹水利施設管理事業	21,201,241	99.99	21,168,943	99.83
鉄道経営安定対策基金	21,590,262	100.00	21,590,262	100.00
鉄道施設整備基金	35,695,857	99.99	35,695,857	99.99
国民健康保険診療所	465,045,389	92.23	460,744,979	91.38
浄化槽管理事業	222,020,836	103.09	193,683,864	89.93
介護老人保健施設事業	407,332,756	95.04	204,158,306	47.63
計	20,650,254,601	100.70	19,667,618,905	95.91



# 議会で審議したもの

人事・条例・決算・補正予算・契約・請願・意見書・ほか



かもしか荘完成予想図

◆(仮称)かもしか荘新築工事(建築主体工事)  
一般競争入札で1億9,939万5千円で落札  
(全員賛成で可決)

## 補正予算

◆一般会計補正予算  
台風・集中豪雨による災害復旧、小中学校施設の耐震補強・大規模改造、通学路の安全点検に係る交通安全施設整備、法改正に伴う予防接種事業などに要する経費の追加等により18億2,215万5千円の追加補正  
(全員賛成で可決)

## 請願書

◆陸上自衛隊饗場野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書  
提出者 ふるさとをアメリカ軍につかわせない滋賀県連絡会  
代表 杉原秀典  
本請願は総務常任委員会に付託され本会議において賛成少数で不採択となりました。

## 意見書の可否

○: 可決 ●: 否決

意見書案第 21 号	地球温暖化対策に関する「地方財源を確保・充実する仕組み」の構築を求める意見書の提出について	○
意見書案第 22 号	「脱法ドラッグ」とりわけ「脱法ハーブ」に対する早急な規制強化等を求める意見書の提出について	○
意見書案第 23 号	自治体における防災・減災のための事業に対する国の財政支援を求める意見書の提出について	○
意見書案第 24 号	基礎自治体への円滑な権限委譲に向けた支援策の充実を求める意見書の提出について	○
意見書案第 25 号	原子力防災にかかる備品整備のための財政支援を求める意見書の提出について	○
意見書案第 26 号	障害者総合支援法の廃止を求める意見書の提出について	●
意見書案第 27 号	セーフティーネットとしての生活保護制度の改悪を許さず充実を求める意見書の提出について	●
意見書案第 28 号	核兵器禁止条約 (NWC) のすみやかな交渉開始を求める意見書の提出について	○
意見書案第 29 号	危険な米軍輸送機オスプレイの配備撤回を求める意見書の提出について	●

## 採決が全員一致以外の議案

○: 賛成 ●: 反対

議案名	清風クラブ	甲政クラブ	日本共産党	正政会	公明党	可否
甲賀市国民宿舎かもしか荘条例の一部を改正する条例の制定について	○	●	○	●	○	可決
契約の変更締結につき議決を求めることについて(柏木小学校耐震工事・大規模改造工事、増額変更)	○	●	●	●	○	可決
平成23年度一般会計歳入歳出決算	○	○今村、土山 ●葛原、木村	●	○田中、森嶋 ●石川	○	可決
平成23年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算	○	○	●	○	○	可決
平成23年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算	○	○	●	○	○	可決
平成23年度介護保険特別会計歳入歳出決算	○	○	●	○	○	可決
甲賀市特別職の職員の給与等に関する条例及び甲賀市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定	○	○	○	○田中、森嶋 ●石川	○	可決

## 議決結果

平成23年度決算認定  
15件  
(11件全員賛成で認定・4件賛成多数で認定)  
人権擁護委員の推薦  
伊室 信子氏  
(甲南町)  
(全員賛成で同意)  
条例7件  
(5件全員賛成で可決・2件賛成多数で可決)  
補正予算11件  
(11件全員賛成で可決)  
契約4件  
(2件全員賛成で可決)

決・2件賛成多数  
(可決)  
財産の取得3件  
鳥獣侵入防止柵購入  
岩上産業株式会社  
2,793万円  
甲賀森林組合  
2,646万円  
甲賀市信楽森林組合  
3,850万円  
(3件全員賛成で可決)



## 主な議案

### 条例の一部改正

◆市税条例の一部を改正する条例の制定について  
個人市民税の所得割における寄付金控除について対象となる寄付金を拡大するもの。  
(全員賛成で可決)  
◆国民宿舎かもしか荘条例の一部を改正する条例の制定について  
国民宿舎かもしか荘の建替工事に伴い、条例の一部を改正するもの。  
(賛成多数で可決)

## その他

◆公立甲賀病院組合規約の一部変更に関する協議につき議決を求めることについて  
(全員賛成で可決)

## 契約の締結

◆(仮称)水口北部地域交流センター新築工事  
株式会社桑原組甲賀支店 一般競争入札で3億1,248万円で落札  
(全員賛成で可決)



水口北部地域交流センター

◆地域情報基盤整備事業センター設備工事  
パナソニックシステムソリューションズ ジャパン株式会社関西支社  
一般競争入札で4億6,998万円で落札  
(賛成多数で可決)

平成24年9月定例会は8月23日より9月19日までの28日間にわたり開催されました。  
一般会計決算・特別会計決算12件・事業会計決算2件のほか、人事1件、条例7件、補正予算11件、契約4件、財産取得3件、意見書9件、請願1件、その他1件の全52件に対し慎重に審議しました。その結果は次の通りです。

# 平成23年度決算認定、条例改正など審議

◆柏木小学校耐震補強・大規模改造工事  
株式会社奥田工務店  
水口支店  
請負金額を937万1,250円増額変更契約。  
タイルの浮きやひびわれ補修の追加工事費で、議会の議決前に工事が進められていたことに対し、地方自治法第96条第1項第5号で定める手順でなかった事についての質疑や賛否の討論がありました。  
(賛成多数で可決)



### 民生常任委員会

市民の生活と環境・福祉に関わる委員会です。



**平成23年度甲賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

22年度に比べて保険給付費が4%伸びたが、保険税や交付金等において当初見込以上の歳入があり、余剰金が出ました。

特定健診受診者実績は35.8%と低く、24年度は受診勧奨に努力することです。

**平成23年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

滋賀県後期高齢者医療広域連合と連携をとりながら被保険者の適正管理や保険料徴収が行われている。

短期保険証の取り扱いは、保険料の2分の1以上を滞納していれば短期保険証を発行し、分納誓約ができれば通常の保険証に変えている。資格証明は無しのこと。居所不明や死亡による不納欠損は30人との説明を受けました。

**平成23年度甲賀市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

**平成23年度甲賀市健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

平成23年度末における65歳以上の高齢者数は20,683人、高齢化率は0.5%上がって22%となりました。

介護施設の職員不足について、介護サービス事業者協議会とも話し合い就職合同説明も行っていること。介護予防事業については、健康推進課の健康づくり事業と共同での取り組みを検討する。以上3件、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

**平成23年度甲賀市健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

平成23年6月30日、

**平成23年度甲賀市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

平成24年3月に介護



水口医療センター

甲南診療所は運営を廃止し、仁生会甲南病院へ譲渡、仁生会甲南診療所として従前通り運営されています。従って甲南診療所分は、4月から6月の3ヶ月決算です。

### 行政視察

**富山市と南砺市の高齢者支援事業**

富山市では、7月18・19日に視察研修を行いました。

19日には、南砺市で、インターネットテレビ電話「スカイプ」を用いた高齢者支援事業サービスについて視察しました。



富山型デイサービスの研修

18日には富山市で富山型デイサービス視察し、施設の理事長と市の担当課の説明を受けました。

### 総務常任委員会

市行政推進の中核を担っている委員会です。



**平成23年度甲賀市土地取得事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

本会計は土地の先行取得により事業の円滑な推進を図ることを目的に設置されているものです。土地の多くは旧町からの引継ぎによるものが多く、今後は一般会計等で買い戻すと共に用地リストに基づき、基金条例に

**平成23年度甲賀市鉄道経営安定対策基金特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

本会計は基金条例に基づき信楽高原鐵道の経営安定による地域公共交通の維持確保を図るための会計です。現在は、基金の取り崩しが運用益を上回る状況が続いているため、高原鐵道が策定した再生ビジョンに基づく公有民営化による上下分離方式の導入をめざすとするもので、これにより高原鐵道の収支バランスが図られ、併せて当基金の扱いについての方向性を検討する必要があります。同時に再生ビジョンの内容について市民の理解を得ることが求められます。

**平成23年度甲賀市鉄道施設整備基金特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

本会計は高原鐵道の安全性向上を図るため施設整備に充当するものです。当会計の課題としては、上下分離方式導入後の財源確保についての方向性が強く求められるため、本市として県当局に対し多額の基金設定を求めることが不可欠となります。

以上3特別会計については採決の結果、全員賛成にて認定すべきものと決定しました。

**請願審査**

**請願第3号「陸上自衛隊饗庭野演習場における日米合同演習の中止を求める請願書」**

本請願の審査にあたっては委員会協議会に切替え、請願者である「ふるさとをアメリカ軍に使わせない滋賀県連絡会」のメンバーの出席を求め趣旨説明を受けました。防衛という観点から、やはり必要であることは理解でき、演習ごとに区域が広がり、住民にとっては不安がつのるばかりの合同演習はやめてほしいとのことでした。委員会を再会後紹介議員の補足説明を受け、討論、採決の結果本請願は不採択すべきものと決定しました。

**行政視察**

当常任委員会では、さる7月24日、25日の両日にかけて所管する、新庁舎整備事業及び地域自治振興事業について、先例地である広島県庄原市(人口40,174人)と兵庫県朝来市(人口33,549人)の行政視察を行いました。庄原市では合併前より耐震上の問題があり、その上合併後302人の職員が入るには狭く、窓口がバラバラで市民の要望もふまえないこと、しかし職員の満足度は、少し事務スペースが狭いとの感を受けました。防災機能は震度7に耐え、空調電源は個別になっており、バイオマスや地中熱を活用して再生エネルギーが利用されていることでした。



次に訪れた朝来市「与布土地域自治協議会」ではコミュニティの基本精神はあくまで区であり、それを補うのが協議会である。小学校区というより、旧村単位という考えであること、協議会の活動については実践を通じて市民に理解をしてもらい意識付けをしてもらっていることでした。

### 付託議案

## 平成23年度特別会計決算5件 企業会計決算1件を慎重審査

当常任委員会は、9月13日、委員会を開催し、付託された国民健康保険特別会計決算など5件と企業会計1件について慎重に審査しました。

**平成23年度甲賀市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

**平成23年度甲賀市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

**平成23年度甲賀市健康保険診療所特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

**平成23年度甲賀市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めらるることについて**

### 行政視察

19日は、南砺市で、インターネットテレビ電話「スカイプ」を用いた高齢者支援事業サービスについて視察しました。



富山型デイサービスの研修

18日には富山市で富山型デイサービス視察し、施設の理事長と市の担当課の説明を受けました。



### 産業建設常任委員会

産業・建設・観光振興・上下水道の整備に関わる委員会です。



**平成23年度公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて**

下水道整備率は59.1%ですが、委員会では、公共下水道が整備されたにもかかわらず宅内工事が進んでいないところの対応について質疑を行い、普及啓発を十分に行なっているとの回答でした。

採決の結果、全員賛成で認定すべきものと決定しました。

**平成23年度農業集落排水事業特別会計歳入歳**

採決の結果、全員賛成で、認定すべきものと決定しました。

**平成23年度野洲川基幹水利施設管理事業特別会計歳入歳出決算の認定を求めることについて**

本事業は、野洲川の基幹水利施設である野洲川ダムと水口頭首工に係る施設管理事業であり、国・県の補助金及び関係市からの負担金を受け、その運営を

#### 所管事務調査

8月10日に開催された委員会では土山



町大河原にある、かもしか荘の取り組みについて説明を受けました。



かもしか荘建設用地 (奥に見えるのは都市との交流センター)

昭和大河原に建設されたかもしか荘は、老朽化に伴い今回建替えることとなり、その概要について説明をうけた後、現地調査を行いました。現地では、解体工事が終わり都市との交流センターのみが残っている様子を視察しました。

### 文教常任委員会

文化やスポーツ、教育に関わる委員会です。

#### 所管事務調査

## 甲賀市における「いじめ」の現状

当常任委員会は、8月21日に委員会を開催し、市における「いじめ」の現状とその対応等について調査を行いました。

平成24年4月から、教育委員会に報告を受けたものとして、いじめに該当するものは1件、いじめの疑いがあるものは10校で19件ありと報告されました。

いじめアクションプラン」を策定し保護者への周知を指示した。また、校長会、教頭会を毎月開催し状況報告を受け対応している。

答/日常の観察は当然のことながら、中学校では生活日記の実施、カウンセリング期間を設けたりアンケートを実施しており、実態を把握し対応できるケースもある。生徒本人だけでなく周囲の児童生徒からの報告もあり、教師の人権感覚も重要である。校長会では複眼で、組織として見る体制が大事であると力説している。また、家庭との連絡も大切である。



問/中学生は教科担任制なので生徒の状況が把握し難いのではないのか、先生同士が話し合う体制はあるか。

答/中学校では学年ごとの連絡も大切である。問/隠す体質等の風潮はないか。

とに会議を持つている。いじめ、不登校等の気になる生徒を個々に挙げ定期的に話し合っている。複数の目で見ると体制をとっていくよう指導している。

いじめは加害者、被害者、はやし立てるグループ、傍観者グループの4層構造となっている。傍観者にならない文化を作っていくためには、生徒にアクションを起こさせる取り組みが必要である。

は、警察とも協力し取り組んでいくスタンスである。その他、多くの質問があり、いじめ問題の今後の適切な対応を求めました。

#### 現地調査

#### 貴生川小学校グラウンド拡張工事



貴生川小学校のグラウンドの整備について現地の工事状況を確認しました。グラウンドの水はけや、工法等についての説明を受け、



工期は9月14日で、小学校の運動会には間に合わせるとのことでした。貴生川幼稚園を取り壊し、新しく拡張される運動場は200mトラックや遊具等のスペースも十分にあり、子どもたちがのびのびと運動できるグラウンドになります。



### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**問** 甲賀市が株主として出資している第三セクターの現状と市がそれぞれについて行政評価をしているのか。また役員報酬は市が把握しているのか。

**総務部長** 市の第三セクターは現在9社となっている。それぞれの会社で経営を確認する方法は異なるが出資法に基づいて決算報告を求めて適正に対応している。また役員報酬は、総額により報告義務があり把握している。

**問** 第三セクターとして、平成23年に設立した『株式会社あいコムこうか』について、どのような方法で出資を募集したのか。またその中で事業所決定は、誰がどのような方法で決定したのか。

土山定信 議員

**Q** 甲賀市と第三セクターは出資法に基づいて市も監視を

**市長** 甲賀市が本組織に託した使命を果せるように、経営の安定化を図る必要がある。加えて常日ごろ多業種の方から積極的に地域貢献している企業に対して説明して賛同いただいた中から市の出資比率等及び市の姿勢、市の方針を理解していただいた企業の中から組織として決定した。



あいコムこうか

**Q** いじめの実態と対策は

**A** 生徒の思いに寄り添い解決を

**問** 大津市の事件を教訓に、いじめ実態と問題解消の取り組みは。

**教育部長** 平成21年度から現在まで「いじめの件数」は13件。また、今年1月から「疑いのある事案」は、現在まで45件。

**市長** 各審議会や委員会も「一人一役」に配慮するなど生の声を反映するように努めてきた。

**問** 貴生川の幼保園廃止や、地域情報化、庁舎建設など、市政運営の進め方は「住民の声を」優先に、十分な議論をすべきだ。

**安井直明 議員**

小学5年から中学2年で事案が多くなる傾向で本市もほぼ同様。内容は、「ひやかし」や「からかい」によるもの10件など。いじめ対策は、ケース会議や対策会議で協議している。

**問** 原発撤退の声は日増しに大きい。太陽光発電など市の独自補助をすべきだ。

**市長** 個人向けの補助は考えていないが、公的な施設や地域などでの導入促進効果の向上を考えている。

**問** 生活保護の現状と扶養義務について。

**健康福祉部長** 保護開始は59、却下が1件。扶養義務は保護に優先、開始要件でない。



費用が高い太陽光発電に市の補助を

森嶋克巳 議員

**Q** 福祉避難所の整備計画は

**A** 順次計画的に整備する

**問** 災害時に福祉避難所に受け入れる要援護者の人数は。

**健康福祉部長** 65才以上の高齢者が2,792人、障がい者の方が45人、その他自力で避難が困難な方が182人。

**問** 災害時に助けてほしいと要望されている人への対策は。

**健康福祉部長** 広報媒体の利用や障がい者施設、医療機関などに呼びかけて周知に努める。

**問** 福祉避難所へ食料品などの生活必需品を配備する計画は。

**危機・安全管理統括監** 保管場所や数量等を協議調整しながら順次計画的に整備する。

**問** 通学路の危険箇所を調査された内容は。

**教育部長** 危険と思われる箇所について各学



通学路での見守り

**問** 調査結果と方針は。

**教育部長** 121箇所の現地調査を行った。市道は緊急性の高い箇所から区画線・グリーンベルト・転落防止柵等順次整備を進める。

**問** 学校への不審電話対策として、録音機能付き着信ナンバー表示電話機の設置を。

**教育部長** 導入は有効性を見極め検討する必要がある。

### 一般質問

## 13人の議員が

# 市の考えを問う

### 平成24年 第3回甲賀市議会定例会一般質問

平成24年9月4日・5日・6日

順番	質問方法	氏名	質問事項
1	分割	土山 定信	1 甲賀市の第3セクター全般について 2 甲賀市と土山ハイウェイサービス株式会社の関係は 3 株式会社あいコムこうかについて
2	分割	安井 直明	1 市政運営の進め方は「住民の声を」優先に 2 大津市の事件を教訓に、いじめ実態と問題解消に向けた取り組みについて 3 原発撤退の声は日増しに大きくなっている。自然エネルギーへの転換のためにも太陽光発電など市の独自補助をすべきだ 4 生活保護行政の現状と扶養義務について
3	分割	森嶋 克巳	1 災害時における福祉避難所について 2 「子どもを守る」安全対策について
4	分割	白坂 萬里子	1 「大津のいじめ問題から本市の対策」について 2 「コンビニにおける証明書等の交付」について 3 「認知症家族の会」の組織化を
5	分割	鵜飼 勲	1 甲賀市の未来(あす)をひらく子育てについて
6	分割	山岡 光広	1 大規模地震と原発立地、防災対策について 2 環境配慮型と地方自治体の節電対策について 3 保健師の増員と専門職が生かせる職場環境を、「生き生き100歳体操」を市全体に拡げ健康づくりを 4 児童クラブの延長保育と夏季休暇中の対応について
7	分割	加藤 和孝	1 災害に強いまちづくりについて 2 セーフティーネット住宅の整備促進について 3 うつ病対策・自殺予防対策について 4 妊婦健診について
8	分割	木村 泰男	1 甲賀市財政の今後の推移 2 甲賀地域道路整備アクションプログラム(第2次)の策定と市内の道路整備について
9	分割	的場 計利	1 J-R甲南駅整備計画の進捗状況について 2 新名神甲南PA利用者も甲南ICの出入ができるように改良を
10	分割	中西 弥兵衛	1 H24年度当初予算編成方針がめざす5つのテーマに沿った重点事業等の進捗状況を問う 2 「あい甲賀ふるさと応援基金」の現状と今後の取り組み方針を問う
11	分割	小西 喜代次	1 市の責任で特別養護老人ホームの増設を求める 2 高すぎる国保税を引き下げ、窓口負担に市の独自補助を 3 中学校卒業までの子どもの外来医療費無料化の拡大を 4 高齢者、障がい者への公共交通に乗車補助とコミュニティバスの実態調査と改善をせよ
12	分割	小松 正人	1 「心の健康」障がい者を支える関係機関の連携のあり方について 2 安心して住める市営住宅環境の整備を急げ 3 小学生の広島平和記念式典の参加枠の拡充と平和教育について 4 都市農村交流事業の推進について
13	分割	橋本 恒典	1 協働のまちづくりの現状について 2 市の国際化と国際交流について

◎より詳細な内容はインターネット・甲賀市ホームページの市議会(議会中継)で本会議の様態をご覧いただけます。http://www.city.koka.lg.jp/

◎傍聴のご案内  
本会議は原則として公開されています。議会を傍聴することにより、市政の方針を知ったり、市議会の活動に触れていただくことが出来ます。ぜひ市議会の傍聴にお越しください。





### 一般質問

### 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**Q** 津のいじめ問題から本市の対策は

**A** 子どもの言動・思いに応える環境に努める

白坂萬里子 議員

**問** 津の一連のいじめ報道に率直な感想は。  
**教育長** 子どもたちの命を守り抜く体制のさらなる充実と子どもの言動を心で聴き、見取り、理解し、その思いに応えていかねばと考えている。「応える」ことのできる教師の育てにも努めていきたい。  
**問** いじめを許さないという環境こそ学校本来のあり方ではないか。生徒手帳への相談窓口の印刷を考へては。  
**教育長** 安心・安全な教育環境がまさに本来の学校の姿だ。いじめ問題に取り組むことは

学校本来の姿を取り戻す取り組みだと認識している。生徒手帳への印刷は、前向きに検討させていただく。  
**問** 住基カードの多目的利用として、住基カードで「コンビニにお二にける証の交付」の交付サービスを提供しては。  
**市長** 多様化する市民ニーズに応じた適切な行政サービスを行っていくことは、大変重要と認識している。コンビニ交付の実現に向けて、まずは住基カードの普及に努め、前向きに検討していく。



**問** 「認知症家族の会」の組織化を。  
**健康福祉部長** 組織の立ち上げについては、相談の幅を広げる意味からも必要と考へ、組織化を目指していく。

鶴岡 勲 議員

**Q** 不育症治療の市単独助成と理解促進は。  
**健康福祉部長** 国や県、先進事例を参考にしながら、最も効果的な支援をどのようにすべきか検討する。不育症について正しく理解されるよう関係機関と連携し周知する。  
**問** 児童虐待の現状と対応は。  
**健康福祉部長** 年々増加傾向にある。個別ケース検討会議を開催し対応している。医療機関との連携についてはより万全な体制を構築していくために歯科医師会も含めて更なる連携が必要と認識している。

**問** 子どもの自立を支援する条例について。  
**健康福祉部長** すべての子どもが健やかな育ちを大切にし、子どもの主体的な育ちを支援することのできる地域社会の実現を総合的、継続的に推進できるよう、広く意見を求め、十分な協議を行いながら対応を検討したい。  
**問** 貴生川認定こども園の現状と課題について。  
**教育部長** 園運営において最も大切にすべきは安全への取り組みである。より安全についての意識を高め、市もしっかりと関わっていく。



将来をたくす子どもたち

**Q** 活断層に立地する原発は廃炉に

**A** 国において適切な判断がされる

山岡光広 議員

**問** 福井原発群における活断層と破砕帯の徹底調査、立地上適地とならない場合は即廃炉に。地域防災計画の地震想定を抜本的に見直すべき。原発防災備品については国に財政支援を求めたい。  
**市長** 国において廃炉決定など適切な判断がなされるもの。国の最新データをふまえてながら被害予測を再検証し



**問** 土山と信楽に地域包括センターができたが、保健師は増えない。増員と専門職が生かせる職場環境を。  
**健康福祉部長** 本来の保健師業務ができるよう適正な職員配置に努める。  
**問** 児童クラブで条例に規定のない延長保育料が徴収されている。  
**健康福祉部長** 市内統一した制度となるよう調整をすすめる。

加藤和孝 議員

**Q** 市道橋梁の老朽化対策につき伺う

**A** 長寿命化修繕計画の中で検討する

**問** 大規模地震発生の際に老朽化した橋梁が倒壊して道路が寸断されることのないよう、早急な対策が必要ではないか。  
**建設部長** 長さ15m以上の橋梁は23年度までに点検を終えている。修繕が必要なものは優先順位を設定し、長寿命化修繕計画を策定する。  
**問** 県の予測図では、本市でも液化化の発生が予測されている。甲賀市版の液化化マップを作成し公表すべきと考へるが。

危機・安全管理統括監

県の予測図では、市全域が「液化化の危険度は低い」とされているが、直下型地震が発生した場合等では一部地域で液化化が発生す



健康福祉部長 公費負担の本市の金額について、県の要綱に定められた必要な回数、内容を実施しており妥当と考へている。今後、近隣地域各市の動向を注視し、拡充の必要性について検討していく。

るリスクもあるため、液化化マップを作成し公表していく。  
**問** 妊婦の方が安心して妊婦健診を受けることができるよう、さらなる公費負担の拡充が必要ではないか。

木村泰男 議員

**Q** 合併特例債の駆け込み事業は後遺症を残さないか  
**A** 財源不足は生じない

**問** 平成26年度の110億円の市債による117億円の投資的経費の内訳は。  
**市長** 小中学校の耐震構造、新庁舎の改修整備、学校給食センターの整備、甲南駅周辺整備事業の他、道路新設改良事業など通常実施する事業。  
**問** 合併特例債の発行期限5年延長によりどの事業を先送りするか。  
**市長** 延長になっても単純に先送りしない。財政収支見直しを見直しする際に慎重に検討する。  
**問** 投資的経費が平成



整備の遅れる県道(主要地方道)

的場計利 議員

**Q** JR甲南駅周辺整備の進捗状況は

**A** 25年度駅舎などの実施設計を行う

**問** 旧甲南町の時から強い要望であるJR甲南駅周辺整備事業の進捗状況を尋ねる。  
**建設部長** JR甲南駅設計業務を行っている。駅舎の配置、自由通路、南北広場などを検討、本年度下半期には、駅舎及び周辺施設全体の概要を確立させる。  
**問** 整備計画の全容と整備工程を問う。  
**建設部長** 南北地域の一体性を図る自由通路の設置、交通機能向上を図る南・北側の駅前広場整備、(仮称)甲南駅前線を含む3路線の幹線道路整備、駅周辺地域の雨水排水対策が基幹事業です。  
25年度に自由通路、南北の駅前広場、アクセス道路の都市計画決



甲南PA

**問** 新名神甲南PAからI-Cへ出入りできるように。  
**建設部長** 滋賀県、ネクスコ西日本、県警察本部、高速道路交通警察隊と協議を重ねている。安全面など課題があるが関係機関と協議を重ね、事業実施に向け取り組みを強化していく。





# 一般質問・特別委員会の動き

**問** 市の国際化と多文化共生の推進について、市民活動の現状は。

**市長** 市内すべての地域で自治振興会を創設いただき「共に生み出す社会」の実現に向けて一歩ずつ近づいている。また、昨年度から「市民協働事業提案制度」を実施している。

**問** あいこうか市民活動・ボランティアセンターの現状は。

**総合政策部長** 市民福祉活動センター内に設置した「あいこうか市民活動・ボランティアセンター」はNPOなどのテーマ型の市民活動団体だけでなく、区、自治会、自治振興会も含めた市民活動の支援を行う機関として、まちづくり活動の中間的支援を行っている。

**橋本恒典 議員**

**Q** 協働のまちづくりの現状は。

**A** 市民活動をしっかりとサポート

**問** 日本語教育に対する支援は。

**教育長** 市国際交流協会の委託事業として一般成人を対象とした日本語教室を開催しており、交流の場としても活用いただいている。

**総合政策部長** 平成22年に「国際化推進計画」を策定し進めている。

**問** 市国際交流協会の支援は。

**教育長** 合併以降財政的支援を行っているが、協働の視点に立ち連携協力を基本としている。

**問** 日本語教育に対する支援は。

**教育長** 市国際交流協会の委託事業として一般成人を対象とした日本語教室を開催しており、交流の場としても活用いただいている。



あいこうか市民活動・ボランティアセンター

**環境対策特別委員会**

**水口のガソリンスタンド 信楽の陶器ガラ不法投棄 実態と土壌及び水質への影響調査**

環境対策特別委員会では、継続的に散在性不法ゴミ投棄や環境対策などに取り組んでいます。8月20日には、委員会を開催し、水口町にあるガソリンスタンドの土壌及び地下水汚染状況の調査結果と今後の対策、信楽町黄瀬地先の陶器ガラ不法投棄の概要について説明を聞きました。

水口町日電地先にある「グリーンアップル水口SS」敷地内の土壌及び地下水において環境基準をこえるベン

ゼンが検出されたことが今年5月に明らかになり、その後、県が周囲約650m以内12地点の井戸水への影響を調査していたところ、ベンゼン・鉛とも不検出でした。委員会では引き続き地下水の影響監視を強めるとともに、敷地内の土壌・水質汚染の除去策を早急に講じるよう業者に指導するよう要請しました。

信楽の陶器製造業者による不法投棄は、ほとんどが陶器の不良品でしたが、釉薬や着色された粉体から有害物質が検出されたため、これも周辺の土壌及び河川への影響を調査していただきました。結果は、いずれも不検出もしくは環境基準以下でした。

**交通対策特別委員会**

**信楽高原鐵道の再生ビジョンとコミバス運行の調査**

9月20日に開催した交通対策特別委員会での調査事項は、信楽高原鐵道(SKR)再生ビジョンとコミュニティバスについてでした。SKRは、今後の経営再生は、抜本的な改革で「未来へ走る鉄道」に向けての健全化のため、利用促進策や経営合理化策、地域との連携など基本方針が示されました。

主な質疑は①上下分離方式を選ぶ理由は何か②信楽高校の再編分校化と鉄道通学は存続の生命線であること③真剣な経営努力の検証などでした。

コミバスの現状説明では、来春の草津線ダイヤとの連動改正及び新甲賀病院の通院路線

の確保をバス事業者と詰めの作業中で、年内には方向性を出すとのことでした。

主な質疑は①各路線の最大乗車人数は②一人当たりの経営実績は③貴生川駅からの通院直通バスを確保せよ④市民ニーズを反映したデマンドバスの検証などでした。

市は街づくりの立場で公共交通活性化街づくり推進協議会を立ち上げることです。



信楽高原鐵道の再生ビジョンとコミバス運行の調査

# 一般質問

ここに掲載する原稿は、質問者の責任において提出されたものです。

**中西弥兵衛 議員**

**Q** 平成24年度重点施策の進捗状況は

**A** それぞれの事業計画に従い検証中

**問** 庁舎整備基本設計等業務の現状と方針は。

**市長** 防災拠点としての行政機能の確保のため、議会や市民の声を聞きながら早い時期に基本設計業務に着手したい。

**問** 新庁舎玄関ホールに陶芸作品の設置を。

**市長** 新庁舎に信楽焼等の地元素材を使用し、PRに繋げたい。

**問** 橋りよりの長寿命化計画について。



信楽焼壁面レリーフ(岡本太郎作)

**市長** 橋長15m以上の市内167橋を対象に学識経験者の意見をふまえ橋梁長寿命化修繕計画を今年度末までに策定し優先順位を設定する。

**問** 「道路案内標識の整備状況」を問う。

**市長** 「甲賀市公共サインガイドライン」と「道路案内標識整備計画」を策定後、年内の工事着手を予定している。

**問** 紫香楽宮跡整備活用計画策定の現状と今後の方針について問う。

**市長** 整備活用計画策定検討委員会を組織し基本計画や活用方針について検討をしており、今後は、中核となる資料館の建設や遺跡の復元方法等を含めた整備計画の取りまとめを行っていく予定です。

**問** 新名神開通記念事業の内容は。

**市長** 開通5年目を迎える平成25年2月頃甲南PAで開催する予定。

**小西喜代次 議員**

**Q** 特養ホーム増設の具体化は

**A** まずは現在の整備計画を着実に

**問** 特養ホームを増やしてほしいという5、156筆の署名を添えての申し入れに市長は「前向きに取り組みたい」と回答。今後どう具体化していくのか。

**市長** まずは、「第5期介護保険事業計画」での整備を着実にすすめていきたい。

**問** 特養ホームの費用は負担の限界を超えている。市独自の軽減措置が必要ではないか。

**市長** 市独自の軽減措置は考えていない。現行制度で対応したい。



特養署名の提出(8月8日)

**市長** 基金運用や、負担と給付のバランスを見極め判断したい。

**問** 受診控えの原因に高い窓口負担がある。国保法44条に基づく医療費の窓口負担軽減制度の拡大を。

**市長** 当分の間、現行制度で推移を見守りたい。

**問** 中学校卒業までの子どもの外来医療費無料化を、段階的にでも拡大を。

**市長** 必要な財源確保に努力し、子ども応援団の見地で判断したい。

**問** 高齢者、障がい者に信楽高原鐵道や市コミバスへの乗車補助を求める。

**健康福祉部長** 制度の拡大は考えていない。

**小松正人 議員**

**Q** 入居停止の市営住宅の対処方法は

**A** 入居者を調整し取り壊し等図る

**問** ある市営住宅で起きた娘による母親刺殺という痛ましい事件で、関係機関による連携に問題はなかったか。

**市長** 対応の問題はなかったと判断する。今後は関係する専門機関と必要な連携をとる。

**健康福祉部長** 精神疾患の方で緊急を要する時は、専門関係機関でチーム支援を行う。

**問** 建て替えのため入居停止の市営住宅は、割れたガラス、剥がれた瓦、地域猫の出入りなど環境悪化が著しい。対応はどうする。

**市長** 今年度、中間見



老朽化した連棟住宅

建設部長 ご指摘の住宅は入居者と調整し取り壊しなど対処する。

**問** 児童の広島平和記念式典の参加枠の拡充と平和教育について。

**市長** 参加枠は拡大する。次世代の子ども達に平和経験をさせたい。

**教育長** 戦争の悲惨さと平和の大切さを学ぶ平和教育で平和に尽くす人づくりをめざす。

**問** 市の都市農村交流事業の目的と効果は。

**市長** 田舎体験の民泊は農村を活性化する。

**産業経済部長** 都市農村交流推進協議会が教育旅行を受け入れる。





### 組合議会の動き

#### 公立甲賀 病院組合 議会

#### 第2回組合議会 平成23年度決算認定を議決

9月24日、第2回組合議会が開かれました。平成23年度決算の認定が上程され議決しました。内容は、

- 病院事業収益 95億1,577万円
- 病院事業費用 91億6,634万円
- 当年度純利益 3億4,943万円

経営健全化審査委員会意見書においても資金不足は無く健全化基準に比較しても良好と判断されました。

平成21年度から導入



正面玄関付近

された病院原価管理法によって各部門や先方との議論を重ね22年度23年度に積み上げた実績であるとの報告。条例の改正では、所在地の変更、診療科の変更があり総合診療を主体とし、人材育成を図る方針が示されました。

新設は、腎臓内科、精神・診療内科、緩和ケア内科、救急科。廃止は、人工透析内科、結核病棟、精神科一般質問について、

- ・医療機器購入
- ・地域貢献率
- ・交通アクセス
- ・院内サービス
- ・院外処方箋の件

等々、市民の目線から質問がありました。公立甲賀病院は平成25年4月1日開院予定。

(文責 中島 茂)

#### 甲賀広域 行政組合 議会

#### 第2回定例会 平成23年度一般会計決算認定他 3議案可決

平成24年第2回定例会議が9月24日に開会されました。平成23年度決算の認定や24年度補正予算など、4議案が上程され、慎重審議の後、いずれも議決しました。その後、2名の議員より一般質問がありました。以下要点のみ報告します。

平成23年度甲賀広域行政組合一般会計決算の認定について

◆歳入総額 37億8,514万6,563円

◆歳出総額 37億2,968万0,249円

◆歳入歳出差引残金 5,546万6,314円

◆主たる歳入 5,546万6,314円

◆分担金及び負担金 26億4,267万2,335円

◆使用料及び手数料 4億5,728万5,417円

◆繰越金 6,092万7,835円

◆国庫支出金 1,002万3,762円

◆主たる歳出

- ◆総務費 9,363万3,946円
- ◆衛生費 16億2,523万1,074円
- ◆消防費 17億1,892万0,225円

◆平成24年度一般会計補正予算

既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ1,450万7,000円を減額補正。

補正等1号

31億1,452万円

◆一般質問

立入善治議員 湖南市  
安井直明議員 甲賀市

(文責 葛原章彦)

### 議会活動報告 (7月~9月)

7月 3日	交通対策特別委員会	豊岡市、八頭町	7月 29日	議会改革特別委員会		9月 6日	本会議	一般質問・議案上程
4日	行政視察		8月 3日	広報特別委員会	京都府舞鶴市 来庁	7日	決算特別委員会	
5日	行政視察	茨城県土浦市 来庁	10日	産業建設常任委員会		10日	決算特別委員会	
6日	広報特別委員会	編集会議	17日	議会運営委員会		11日	決算特別委員会	
9日	産業建設常任委員会		20日	環境対策特別委員会		12日	決算特別委員会	
10日	行政視察	宍粟市、真庭市	21日	文教常任委員会		13日	総務常任委員会	
10日	文教常任委員会		22日	総務常任委員会	議案上程・説明		民生常任委員会	
11日	行政視察	浜松市、島田市	23日	本会議	議案上程・説明		産業建設常任委員会	
12日	広報特別委員会	徳島県三好市 来庁	24日	本会議			議会運営委員会	
17日	広報特別委員会	編集会議	9月 3日	本会議	議案審議・採決・付託	19日	本会議	議案審議・採決
18日	民生常任委員会			広報特別委員会	編集会議	25日	広報特別委員会	編集会議
19日	行政視察	富山市、南砺市	4日	本会議	一般質問			
24日	総務常任委員会		5日	本会議	一般質問			
25日	行政視察	庄原市、朝来市		議会運営委員会				

### 特別委員会の動き

#### 広報 特別委員会

#### 視察研修受け入れで、 互いに研鑽し紙面向上を

広報紙コンクールでの受賞以来、他議会の広報委員会より視察研修の依頼が増えました。議会活動や市政にかかわる事柄を市民の皆様により分かっていたら、親しみのある紙面づくりを目指し取り組み、親しみのある紙面づくりを目標として取り組んでいるのはこの広報委員会においても同じです。



視察受け入れ

視察の受け入れは委員全員が参加して行っています。

7月は徳島県三好市議会から7名をお迎えし、広報特別委員会の取り組みと議会改革と議会広報について説明をしました。8月は京都府舞鶴市議会から7名をお迎えし、議会だよりの編集について説明をし、意見交換を行いました。

当委員会においても2年に1回の視察研修を行っています。このように他市からお越しただくことにより、有意義な研修の機会が増え、編集に役立てることが出来ます。

10月は徳島県吉野川市議会、11月は岐阜県郡上市議会から視察研修に来られる予定です。

市町村の議会広報は事務局で発行していることが多いのですが、「こうか市議会だより」は議員自らが編集・発行しているのが大きな特徴です。広報特別委員会では市民の皆様によりわかりやすい広報

#### よりよい紙面を つくるために

#### 近畿市町村広報紙 セミナー参加



セミナー受講の様子

紙をめざして様々な努力をしており、その一環として近畿市町村広報セミナーにも参加しています。

セミナーは毎日新聞の主催で毎年行われており、見出しの付け方やレイアウト、わかりやすい文章の書き方、写真の撮り方や取材の仕方や校正まで専門の講師がわかりやすく講義されます。今年は橋本恒典委員が2日間の研修に参加し、広報特別



セミナーでの発表の様子

#### 今村和夫議員が表彰

平成24年度において今村和夫議員が市議会議員として、通算10年以上(町議会議員期間は2分の1に換算)にわたり、地方議会の発展に貢献されたこと、滋賀県市議会議長会から一般表彰・議員10年以上として表彰されました。



委員会でも報告、資質の向上につなげています。また、セミナーの事例紹介では数多い議会広報の中から甲賀市が選ばれ、藤原委員が取材や編集について発表しました。

こうか市議会だよりは昨年の近畿市町村広報紙コンクールで優秀賞をいただきましたが、地道な努力が受賞につながったものと思っています。今後、市民の皆様により親しみやすい市議会だよりをめざし頑張りますので、よろしくお願いたします。



# ええとこ Vol.4 “こうか再発見”

甲賀の芭蕉の句碑のご案内。  
今回は信楽町の句碑を紹介します。

樹齢1200年の天然記念物の「高野槇」でも知られる玉桂寺。句碑は明治35年の建立である。  
松茸に何か知らない木の葉がべたりとへばりついている、まるでその木の葉のように、顔見知りの支考(江戸中期の俳人。各務氏。蕉門十哲の一人)にべったりとへばりついて見知らぬ男がやってきたよ、という意。  
この句は、元禄7年9月と推定され、芭蕉は10月12日に亡くなっている。

秋葉山十輪院 玉桂寺 (信楽町勅旨)  
松茸や 知らぬ木の葉の へばり付く



▲玉桂寺の芭蕉の句碑



## 甲賀の芭蕉句碑 ④



▲岩谷山仙禅寺の句碑

▼芭蕉ゆかりの地、信楽町宮尻の句碑



岩谷山 仙禅寺 (信楽町上朝宮)  
木隠れて 茶摘みも聞くや ほととぎす

茶畑の上を、ほととぎすが鳴きながら飛び去って行った。  
茶摘女の姿は茶の木の間に隠れてよく見えないが、茶を摘みながらほととぎすの鳴き声を聞いていたであろう。

時は元禄7年(1694年)5月17日。伊賀上野を発ち、芭蕉の遠縁にあたる宮尻の片木藤兵衛宅に旅する途中、宮尻の茶畑でこの句を詠んだという。翁が去った後、道端の炭小屋の軒に、この句が残されていた。後に句碑にしたと伝えられている。

### 編集後記

◆朝晩は、肌寒さを感じる毎日です。今年の夏は節電に心掛け、暑い夏を乗り越えられたと思います。しのぎやすい秋を迎え、実りの秋・食欲の秋・スポーツの秋・読書の秋・文化芸術の秋と、何にでも似合う秋は、夏バテ気味の体をリフレッシュできる絶好のチャンスです。日々の忙しさの中にも、何か集中できるものをさがして、自分の趣味や、健康のために、活かしてはいかがでしょうか。寒い冬の到来の前に、今こそおもいっきり、日本の四季に感謝しながら、健康にお過ごしください。平成23年の決算議会の模様を掲載しました。ご意見・ご感想がございましたら、お待ちしております。  
(広報特別委員会 白坂萬里子)

### 12月議会の予定

- 11月21日 本会議 代表質問
- 28日 本会議 議案上程、提案理由説明
- 12月 5日 本会議 議案審議、採決、付託等
- 7日 本会議 一般質問
- 10日 本会議 一般質問
- 11日 本会議 一般質問(予備日)
- 12日 委員会
- 13日 委員会 (予備日)
- 17日 本会議 委員会報告、採決



### カメラの



スポーツの秋、市内各所で運動会が開催されました。写真は私も通った保育園。もっと広い園庭だったと思っていたのですが、こんなにちっちゃな園庭だったとは。  
秋空の下、園児たちは一生懸命かけっこをし、楽しそうにパフォーマンスを繰り広げていました。子どもたちの未来のために議会もより一層頑張ります。  
写真撮影：谷永 兼二